提案タイトル	富山市スマートシティ推進基盤利活用促進事業

内閣府 近未来技術等社会実装事業

提案者	活用技術
富山県富山市	AI・IoT

背景・課題

目指す将来像

- 富山市全域（居住人口98%）をカバーするLPWA(※1)網とIoTプラットフォームからなる「富山市スマートシティ推進基盤」を整備し、「地域連携モデル事業」や「LoRaWAN(※2)活用事業」等を通して地域の安全安心を守る体制を強化し、各種業務の効率化を図り、ライフライン共通プラットフォームの活用や民間企業等への実証実験公募、オープンデータの推進を行うことで、新たなビジネスモデルや雇用の創出を促す

解決すべき課題

- 「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組んでいるが、少子高齢・人口減少が進行する中、互助・共助による地域活動におけるマンパワーの不足、広い市域に配置している官民インフラの適正な維持管理等が課題となっている

実装を目指す主な事業内容

○事業：地域連携モデル事業

活用技術	事業概要
AI・IoT	• 小学生にGPSロガーを配布し、児童の登下校路調査を実施し、得られたデータを富山大学と連携して解析する • 解析結果を元に、学校統合によって広がった小学校区において効率的にこどもの登下校の安全安心を支える地域連携モデルを検討・展開する

○事業：LoRaWANの活用事業

活用技術	事業概要
AI・IoT	• 消雪設備自動運転装置の監視等、LoRaWANを活用した業務の効率化について調査・実証実験を行う

富山市スマートシティ推進基盤利活用例（イメージ）

小学生に携帯してもらうGPSロガー

※1：Low Power Wide Areaの略。省電力広域エリア無線通信技術。
※2：LPWAの規格のひとつ。